

# 燃料輸送問題と関連工事について 小川国彦議員が政府・公団を追及！

☆☆☆☆☆☆

去る三月六日、衆議院予算委員会第五分科会において、金権選挙の横行する中で唯一空港反対を掲げ闘っている千葉二区選出の小川国彦議員がジェット燃料暫定貨車輸送問題と関連工事について約三〇分にわたり運輸省、空港公団に対し質問・追及を行なった。この第五分科会には、動労千葉関川委員長、中江氏をはじめ成田支部執行部が傍聴した。

☆☆☆☆☆☆

## 土屋基地燃料タンク増設工事、 暫定貨車輸送の延長策動

小川議員は、成田市土屋にある燃料基地において、本年九月使用開始を目標に空港公団が六億一千万円を投じてもう一基の燃料タンク（一四九〇キロリットル）の増設工事を行なっていることについて追及した。そもそも、土屋基地の目的が暫定貨車輸送のみ必要なものであり、この暫定貨車輸送期間は、三年間と閣議決定されており、来年三月で期限切れとなるものである。

現在、土屋基地には、燃料タンク三基（一基・一一五〇キロリットル）がある。来年三月の暫定貨車輸送期限切れを前に燃料タンクの増設を強行する政府・空港公団は、地元住民を中心とする激しい反対運動のため本格バイプラインの期限内完成が完全に破産したことにせり、「三年間の暫定貨車輸送」という閣議決定すらも自らふみにじる策動にでてきたのだ。

## 使用期間七ヶ月、建設に六億円、 何のための燃料タンク増設か

こうした暫定貨車輸送問題と関連工事についての、小川議員の質問・追及と地崎運輸相、大塚空港公団総裁の答弁の主旨は、つぎの通りである。

△質問▽ 来年三月をもって期限切れとなる暫定貨車輸送についてどう考えるか。  
△答弁▽ 閣議決定による公約は、果たさなければならぬ。

△質問▽ 土屋基地に、現在増設中の燃料タンクとその附帯設備について工期、予算、使用開始期日を明らかにせよ。  
△答弁▽ 七月末に完成し、九月以降使用開始の予定。

△質問▽ 約六億一千万円である。  
△質問▽ 先ほどの地崎運輸相の答弁で来年三月の暫定貨車輸送期限切れが再確認された。

九月から来年三月までのわずか七ヶ月だけ使うために六億一千万円も投じるのは、予算のムダ遣いではないか。  
△答弁▽ ムダ遣いの感もあるが、空港機能を發揮するためには、やむをえない。

80.3.25

No. 385

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
電話二二五八一九（公衆電話三三二七二〇七）



# 3.30三里塚 大結集のために(その4)

政府・空港公団は、小川議員の追及で明らかのように土屋基地の増強―暫定貨車輸送延長政策とも合いまって、現在、三里塚現地において、二期工事強行、反対同盟の分断・破壊策動として、公団用地貸付、成田用水、千代田農協買収―移転など様々な攻撃をかけている。

われわれは、三・三〇現地集会に圧倒的に結集し、この力をもって政府・空港公団の悪辣な策動を完全に粉碎しよう。

動労千葉は、必ずわが手で空港燃料を断つ！  
(円内写真：小川議員)

3・30現地に総結集し、二期工事強行・反対同盟分断・破壊策動を粉碎しよう！

政府・空港公団は、運輸省・空港公団の多くの矛盾点を暴露しつつ、追及した。

最後に会計検査院に対し、「ムダ遣いを改めさせる気はないか」と追及し、「十分に検査する」と約束させた。